

【TOP ISSUE】

解けることのないモディファイド

BMW “M”の魔力

F22 M2/E92 M3/F82 M4/F10 M5/F12 M6

HEAT of BMW M

Crazy Bimmer!

頂点モディファイでカッコよさの新境地へ

Get!
Up-Grade ITEMS

パフォーマンスから
ルックスまで
ユーロモディファイの
必須アイテム

BMW F82 M4

Completed by
Access evolution MEGURO

AUDI PRIDE

洗練された品格漂う
最新アウディモディファイ

5x/RS3, First Class/TT, bond Osaka/Q7

CRAZY ABOUT VW

VWに首ったけ!!

up! GTI/Golf R/Golf Variant/Scooroco/Arteon

2016
77
EURO
2016 NOVEMBER
刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します



HYPER FORGED HF-DiC

ハイパーフォージド エイチエフ ディーアイシー

CALL>>Office AZ (オフィスアズ) [0749]42-7568 www.office-az.com
HYPER FORGED ALLOY WHEELS Inc. (ハイパーフォージド) [072] 256-6664
PHOTO & TEXT>>HIROYUKI URANO (満野浩之)



540i ツーリングのボディサイズにジャストな21インチを選択。フロントは大型サイズのブレーキをかわしつつディープリムを実現する10.0Jを、リアは深いリムとコンケーブレーションの高いディスクデザインが美しい11.0Jとした。



切削鍛造ならではのエッジ感やブラッシュドの目が楽しめるブラッシュドチタニウムクリアコートもワンオフオーダー。程よいマット感も魅力だ。



リアは11.0Jという余裕のあるサイズを活かしてディープコンケーブを選択。疾走感のあるツイストデザインが息を呑む角度で落とし込まれている。



■SPECIFICATIONS. BMW 540i Touring xDrive M Sport 2017
WHEEL: HYPER FORGED>>HF-DiC F.21×10.0 R.21×11.0
Finish: Brushed Titanium Clear Coat(Matte) Disk/Brushed Anodized Titanium Outer Rim/Anodized Black Inner Rim
TIRE: MICHELIN>>Pilot Super Sport F.255/30R21 R.295/25R21
SUSPENSION: AC-SCHNITZER>>Suspension Kit
ENGINE: 3.0 Design>>Booster Chip
EXTERIOR: M Performance>>Carbon Front Spoiler,
3.0 Design>>Side Skirt,end.CC>>Rear Carbon Diffuser



01. Mスポーツのスポーティーなフロントマスクを活かすため、フロントはMパフォーマンスのカーボンリップをチョイスした。02. 立体感に富んだノーマルサイドを考慮し、さりげないフラップ形状の3Dデザイン製カーボンパネルを装着。03. Mスポといえども、おとなしいイメージのリアセクションにはエンドC.C.のカーボンディフューザーをセットした。

540i ツーリングに21インチ鍛造リムの組み合わせは色気があるながらも、あらゆるシチュエーションでマルチパーパスに使えるオトナの乗り物といった感じに仕上がった。



デザインもさることながら

フィニッシュの豊富さでも魅せるホイール

多くのメーカーが毎年のように新作モデルを発表するなか、ハイパーフォージドはあくまで製品本位のスタンスを貫いている。つまり開発に期限を設定せず、シーンが必要とするホイールをこだわり抜く仕様にして、納得したところでリリースするのだ。だから続けざまに新作が出ることもあれば、1年以上音沙汰なしなんてことも当然のように発生する。逆に言えばそれだけこだわりの詰まった設計はメーカーへの信頼に繋がるし、簡単に新作が登場しないということは、いつまでもどのホイールも色褪せないことにも結びつく。

だから、さまざまなクルマを経験してきた達人ほど、結果としてハイパーフォージドに行き着くのだろう。このBMW 540i ツーリングは、まさにBMWの達人

といえるオフィスアズ西川代表のプライベートマシン。他にもM4をはじめとして、エキジチックカーやレクサスなど多種多様なクルマを操る同氏が、長距離移動の相棒としているクルマである。そんな愛車の足元にはハイパーフォージドHF-DiCが収められていた。西川代表にハイパーフォージドの魅力を問うと「なんといっても安心感でしょうね。考えつくされたデザインやメイド・イン・ジャパンの安全性、それにブラッシュドなどフィニッシュの美しさを総合すると、オーナーを問わずにオススメできるし、自分のクルマにも履きたいと思います」という。そんな鍛造製法による質実剛健な造りのなかに、さまざまなフィニッシュワークを駆使することで生み出される“ツヤっぽさ”こそ、ロングセラーを支える要因だと思う。

本作が採用するフィニッシュは「ブラッシュドチタニウムクリアコートディスク+ブラッシュドアナダイズドチタニウムリム」のコンビネーション。レギュラーカラーには存在しない設定だが、こうしたワンオフフィニッシュに対応してもらえるのもハイパーフォージドの特色であり、経験値の高いショップであれば、こうしたハイレベルな提案によって自分だけの一本が製作可能だ。ツヤやかな黒のボディにカーボンパーツを散りばめたイカついツーリングの足元に、アルミの質感をソリッドに伝えるブラッシュドの輝きを感じられるマッチングは、鮮烈かつオトナの極み。知的なツーリングのボディ形状も加わり、存在感に反してフォーマルにも無理なく使えるような、実に品の良いクルマに仕上がっている。